

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 200万人
- GNI 総額 144.58億ドル
- GNI 一人あたり 7,650ドル
- 経済成長率 4.3%
- 失業率 17.7%
- 対外債務残高 24.88億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) 0.74億ドル
- DAC分類 高中所得国
- 世界銀行分類 iv / 高中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対ボツワナ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009年度	-	11.30	1.82(1.73)
2010年度	-	0.17	3.52(3.41)
2011年度	-	0.31	4.95(4.37)
2012年度	87.35	0.15	3.89(3.70)
2013年度	-	0.75	4.60
累 計	219.81	42.48	66.35(64.84)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	31.2%(1994)	-
●目標2: 初等教育における純就学率	85.6%(1990)	87.3%(2009)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	1.07人(1990)	0.96人(2009)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	48.0人(1990)	53.3人(2012)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	140人(1990)	160人(2010)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	3.48%(2001)	1.00%(2011)
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	91.9%(1990)	96.8%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

ボツワナに対する我が国ODA概要

1. 概要

ボツワナに対する経済協力は、1981年度の無償資金協力で始まり、その後、火力発電所建設や幹線道路建設等大型インフラへの円借款、1993年からは青年海外協力隊(JOCV)の派遣を開始し、現在は技術協力中心の支援を行っている。同国はダイヤモンド依存経済からの脱却を目指し経済多角化等の政策に力をいれており、我が国からの技術移転に対する期待が高い。ボツワナの国家政策「第10次国家開発計画(NDP10: National Development Plan 10)」に留意し、人とのつながりを重視した人材育成、技術移転支援を行っている。

2. 意義

ボツワナの持続可能な成長に向けた産業構造の多角化や同国で拡大しつつある所得格差是正に向けた貧困削減のための取組への支援は、同国の安定的な経済成長につながり、我が国企業の投資機会の拡大に資する。

3. 基本方針

産業多角化に向けたインフラ整備および人的資源の開発: ボツワナは、長期的な経済開発に向けた「ビジョン2016」に基づきNDP10に取り組んでおり、その中で主に産業の多角化と貧困削減に向けた政策展開を目指している。我が国は同国家開発計画を支援していく。

4. 重点分野

- (1) 産業多角化に向けたインフラ整備および人的資源の開発: 産業多角化に取り組む上でインフラの未整備の解消が急務とされ、エネルギー、水資源、物流、情報通信、環境対策等で我が国の技術を活かしたインフラ整備を支援する。また、産業多角化の主役となる民間セクター強化に向けて人材育成を支援する。
- (2) 貧困地域の開発促進: 格差是正や貧困層の生活向上に向け、地方における安定的な収入確保に向けた村落開発や基礎的な技術を持たない貧困層に対する職業訓練の促進を図っていく。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1の詳細)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011年度	なし	0.31 億円 ・草の根文化無償(1件) (0.06) ・草の根・人間の安全保障無償(5件) (0.25)	
2012年度	87.35 億円 (87.35) ・カズングラ橋建設計画	0.15 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(3件) (0.15)	
2013年度	なし	0.75 億円 ・国営テレビ局番組ソフト整備計画 (0.44) ・草の根・人間の安全保障無償(4件) (0.31)	
2013年度 までの累計	219.81 億円	42.48 億円	66.35 億円(64.84 億円) 研修員受入 752人 専門家派遣 74人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011年度以降に開始され2013年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の〔〕内は、協力期間。

ボツワナ

表-3 我が国の対ボツワナ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	-4.83	0.22	1.99	-2.61
2010年	-5.14	12.87	2.98	10.71
2011年	-5.66	0.27	5.48	0.09
2012年	-5.65	0.32	6.39	1.05
2013年	-1.73	0.18	4.09	2.54
累計	8.60	71.21	62.38	142.19

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
 2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、ボツワナ側の返済金額を差し引いた金額)。
 3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
 4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2008年	ドイツ 438.98	米国 232.87	日本 22.47	スウェーデン 4.33	ノルウェー 3.01	22.47	708.83
2009年	米国 215.42	スウェーデン 2.95	日本 2.22	ドイツ 2.08	ノルウェー 1.83	2.22	229.73
2010年	米国 77.98	日本 15.85	フランス 6.81	スウェーデン 4.68	ドイツ 2.44	15.85	112.65
2011年	米国 78.48	日本 5.75	オーストラリア 2.89	スウェーデン 2.11	ドイツ 2.03	5.75	96.30
2012年	米国 50.17	スウェーデン 7.16	日本 6.71	オーストラリア 1.51	英国 0.96	6.71	69.46

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2008年	EU Institutions 30.58	BADEA 4.84	OFID 1.66	UNFPA 1.43	UNDP 1.09	3.38	42.98
2009年	EU Institutions 32.29	OFID 12.71	BADEA 11.75	UNFPA 1.89	UNICEF 1.20	3.12	62.96
2010年	EU Institutions 39.28	OFID 5.83	GFATM 2.05	UNFPA 1.44	GEF 1.36	4.94	54.90
2011年	EU Institutions 21.06	UNHCR 2.94	GEF 1.69	UNFPA 1.38	AfDB 1.06	4.13	32.26
2012年	EU Institutions 5.24	OFID 5.15	BADEA 1.55	AfDB 1.51	UNFPA 1.46	5.17	20.08

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件(開発調査案件を含む)(開始年度が2009年度以降のもの)

案 件 名	協力期間
国家森林モニタリングシステム強化プロジェクト	13. 4~16. 3

出典) JICA

表-7 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
マハラベ郡小学校電化計画 トラメロンリハビリテーションセンター増設計画 ノースウエスト郡マバベ村幼稚園建設計画 エスオーエス フランシスタウン子ども村 フェンス整備計画

主なプロジェクト所在図 ザンビア、ジンバブエ、ボツワナ



〈ザンビア全国対象プロジェクト〉

- ⑪ 貧困削減戦略支援(12)
- ⑫ コールドチェーン展開計画 (UNICEF連携)(13)
- ⑬ 地方給水維持管理コンポーネント支援プロジェクト(11)
- ⑭ 授業実践能力強化プロジェクト(11)
- ⑮ 産業ストラテジー策定支援(11)

〈ザンビア ルアブラ州、北部州、ムチンガ州対象プロジェクト〉

- ⑯ 小規模農家のための灌漑開発プロジェクト(12)